

# バンコクで進む道を見抜く力を養おう!

～激動の日本教育のグローバル化、

私たちはバンコクで何をしなくてはいけないのか?～

2014年2月に筑波大が全学部でIB入試を実施すると宣言。同様な宣言をする大学が相次いでいます。最短の**IBDP校として、2015年4月**に少なくとも3校が2017年は茗溪学園も含み、どんどんスタートしていきます。来年4月から開校する各学校の取り組みについてお話しします。このように、一見順調に高校大学でIB化が進んでいるように見えますが、そう単純ではありません。

自民党の教育再生対策本部も、**センター試験をやめて達成度テスト**を導入?高校生や大学生にTOEFL・GTECを必修? **小学校5年から正課で英語**を導入?全校にELT(外国人教師)?633制をやめて432制や54制に? **小中一貫校**を推進?一方、鹿児島県立の中高一貫全寮制男子校楠隼が来年開校!何と**県立が全国募集**それはありか?大阪で**公立学校の民営化**が始まり、公立なのに経営者は民間、内容は私立と同じながら公費で運営はありか? **公立に外国人教師を管理職**として受け入れ、**IB英語ディプロマを公費で公立**に導入検討……

これからの5年～10年は特に「**グローバル教育**」をめぐる教育界は混乱します。どこへ行く「**Inter National Japanes 丸**」この混乱を見抜く視点と力は海外で生活し勉強している皆さんです。英語力をアップさせたいだけなら、英語圏の国に1年間交換留学で十分つきます。日本の有名大学に合格するために必要な英語力くらいはすぐつきます。でも英語力だけいいんですか?大学入試は「学力」を測って合否を決めています。人材が経営に直結する「企業」はとくにそんな虚構を信頼していません。有名校の就職時の二分化(有名企業数社獲得と内定ゼロ)……田代氏 談

こんな、旬なお話を熱く語って頂きます。是非皆さんお集まり下さい。

未来へのパスポートを手に入れよう!♪

## 2014年11月21日 (金)

### 13:00～16:00

## バンコク日本人会別館 ファンクションルーム

**講師 茗溪学園中学校高等学校  
副校長 田代 淳一 先生**

講師紹介……化学教師として活躍し茗溪学園のスーパーサイエンス校のリーダーとして学園を牽引してきました。国際バカロレアデュアルランゲージディプロマ連絡協議会員・グローバル人材育成カリキュラム研究会員・IB化学の校正担当・茗溪学園のIBアドミニストレーターと最近ではグローバル化により学園外で教育界の先頭を走り続けています。日本教育の国際化が進む中、海外で学んでいる日本人子女が先駆者となるべきと海外各地で教育講演会を実施しています。この2年間としては、上海・マレーシア・シンガポール・バンコク・メルボルン・ホーチミン  
最新の講演会としては、10月11日(土)にメルボルン補習校で  
『日本の国際教育の動向と国際バカロレア ～海外生帰国生をどう育てるか～』

問合せ先 ●Saita M:081-720-5156 Email:ysaita@asb.ac.th

<http://sawanthailand.com/> 詳細内容はご確認ください。

お申し込みはサイトからお申し込み下さい。電話でも対応いたします。